



サラ サラ サラ
静かに、雲をうつつして
流れる川。

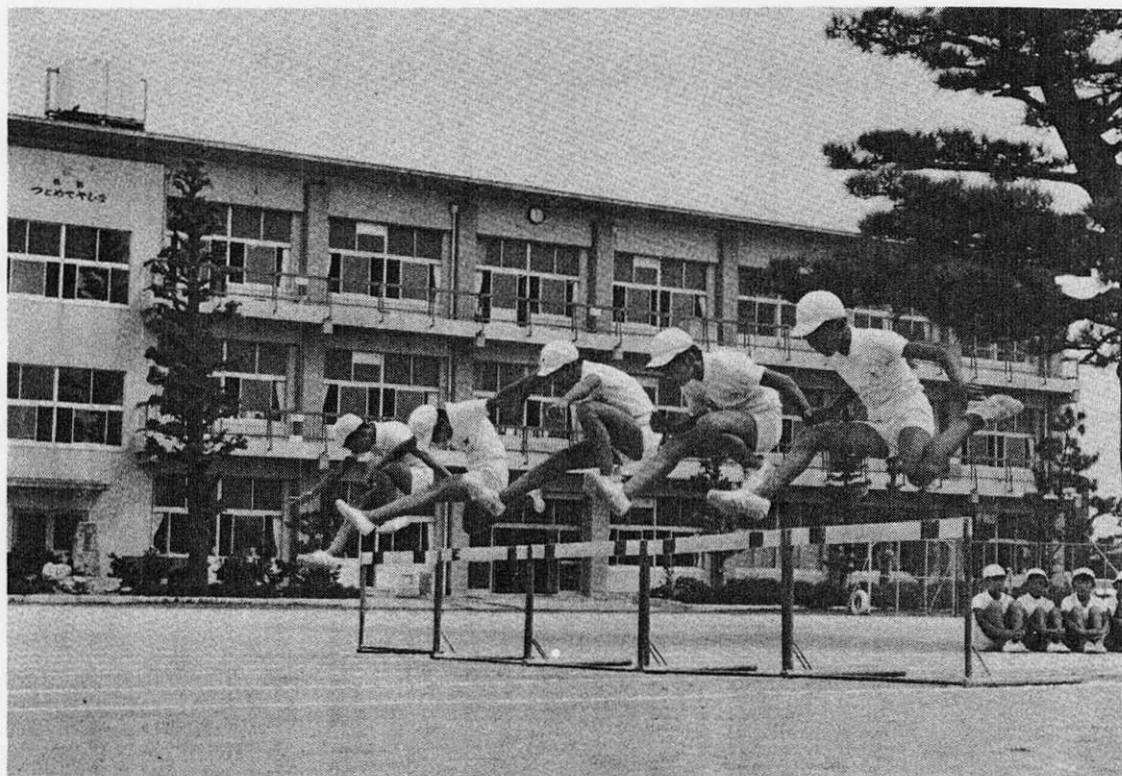
いつも
ぼくたちの心を
落ちつかせ、清めて
流れる川。

清く澄んで
底まではっきり見える
ぼくの 大好きな
川。

(六年) 平岩

徹

昭和51年10月1日 / 編集・発行 / 岡崎市教育委員会



(元気いっぱい・スポーツの秋だー矢南小)



「体育の日」

矢田 香子

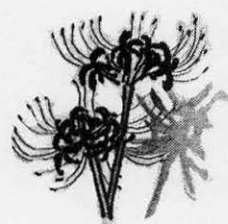
— 教育随想 —

後者は「できる喜び」がないのでしないのではなからうか。「できる喜び」それは、それぞれ目標をもつことである。特に肥満児については、その学年のそのクラスの目標にでなく、自分なりの目標をもたせることである。たとえば、肥満児にとつて一番不得手な鉄棒の逆上りにしても、「鉄棒にも手が触れる」次に、「ももがかげられる」と段階的に目標をもつことだと思ふ。

最近、各地で町内の有志でグループを作りマラソンを実施している姿を見かける。この人たちは、背のびした記録を目標にするのでなく、「あの神社を一回りするのにお分かったのが、このごろは〇分で行けるようになった。」「最初は苦しかったのが、このごろ、息苦しくないので、もう少し距離をのばそうか。」等の声を聞く。

「体育の日」それは、行事をもつたものでもないし、大勢の人が集まらななくてはできないものでもない。自分の体力に合った目標をたてて、その目標に向つて、不断の身体活動をしようとするこゝとではなからうか。

(岡崎女子短期大学助教授)



テレビと本

●VTR

山崎直美



「ハロー!」画面にヒゲの外人が登場する。待つてましたとばかり身を乗りだす生徒たち。日ごろ、ひな人形みたいな彼らも、この時はかりはテレビつ子氣質をいかんなく発揮する。

「先生、今の会話わかったよ。僕たちも外人に話しかければ通じるね。」

授業中はいつも小さくなっているのに元気はつらつとして話しかけてきたS君彼のひとみはキラキラ輝いている。

「先生、外人と結婚すれば英語はペラペラになれるね。」とおませさん。

英語に関心を持ち、英語を好きになってくれればと思ひながら、カラーもあざやかな画面を生徒と共に見つめている。

(城北中)

●親子同時視聴

牧野伊佐夫

テレビが子どもに及ぼす影響には、よ

身体発達は時代の影響を受けている。これは時代の変化に伴い国家の国際的、文化的、経済的地位の変化によって、生活状態や生活様式が変化するので、これらの影響によるものであろう。

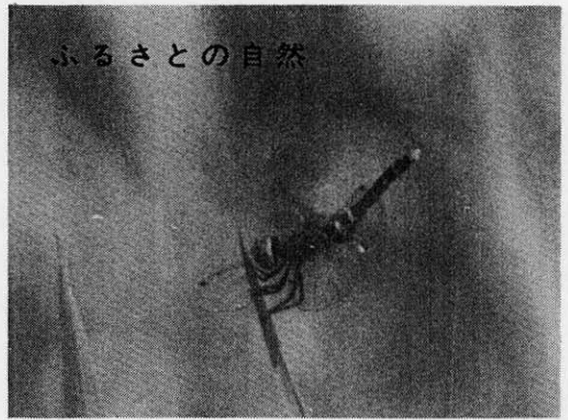
日本の子どもは体位は著しく向上したが、それに伴って体力は向上していない。日本初の国際的最大のスポーツ行事の東京オリンピック大会では日本人のみじめな体力の実態を見せつけられ、体力づくりの重要さに目覚め、この日を「体育の日」と定め、体力向上のコースの上を走ることになった。

その後、体力づくりを金看板とした高価な計器を備えたトレーニング場が各地ででき、開設時には何千人という会員が

おしよせ、隆盛をきわめたのに長続きがせず、衰微、あるいは閉鎖された所もあるように聞く。体力づくりの重要さはだれも認識しているのになぜであらうか。最近では、栄養過剰に関連した肥満児が社会問題になっている。肥満児の問題はもちろん単に、体育運動だけでは解決できないが、この点だけで考えるならば、運動をすることが、解決のひとつであるのではないのなせか。

それは、技能が劣るから、できないから、意欲に欠け、態度にも問題が起きるのではなからうか。

前者は、ある一定の水準に達すると、それ以上には顕著に進歩の跡がみえないので、おもしろくなくなるのであろうし、



ふるさとの自然

自然破壊のインディケーター

ハッチョウトンボ

— 岡崎市の昆虫 —

のトンボの仲間では最小の種類です。

ハッチョウトンボ

の雄は、ヤゴから親になつたときは黄色

ですが、時がたつにつれて、鮮かな「あかね色」となります。

雌は、黄色と茶色のはん紋があるだけで赤くなりません。

ハッチョウトンボの成虫は、あまり行動範囲が広くありません。一度の飛ばしうは、二メートル程度であり、すぐ近くの植物の葉などに止まってしまい、静止していることが多く、不活発なところがあります。

静止するときには、腹の部分を持ち上げ、ちょうど逆立ちをする格好をするこ

とがあります。

● 湿原の代表的な昆虫

ハッチョウトンボの「ハッチョウ」は、名古屋の八丁なわてにちなんでいるといわれています。以前は、名古屋の都心部にも発育していたようです。

ハッチョウトンボは、湿原を代表する昆虫です。ミズゴケやモウセンゴケなどはえている、わき水のある湿原に多く見られます。成虫は、五月下旬より八月

中旬まで、見ることが出来ます。岡崎市では、稲熊町・伊賀町・明大寺町・奥殿町・藤川町などの湿原に多く見られます。ハッチョウトンボは、以前は、都市開発による湿原破壊で、都市周辺部では、その数が減少し、絶滅寸前かといわれましたが、近年、休耕田の増加により、ふたたびふるの傾向にあるようです。

● 自然環境の保護

湿原という環境は、ハッチョウトンボをはじめとして、他のトンボの仲間や水棲昆虫・湿地植物・水生植物など・特殊な生物でなり立っています。

湿地をなくすことはたやすくできるものですが、それを造成保護してゆくことは、たいへんなことです。

それは、湿地だけを保護するのではなく、その周囲の環境をも守ってゆかなければ、湿地の維持は不可能だからです。私たちの現在や将来の生活は、本来、このような、自然との正しいかわり合

いの中でなされなければなりません。都市化など、人間の生活圏の拡大による自然破壊は、かれんなトンボたちをはじめ、私たちにも影響を与えます。

(矢作中一 鈴木栄二)



い面、悪い面いろいろあろうが、問題は番組の選択にあるのではないだろうか。家庭でよいテレビを親子でいっしょに見るようにする一方、学校放送番組については、子どもは教室のテレビ、親は家庭のテレビを視聴し、よい番組の視聴、つまり「価値ある出会い」を大切にしたいのである。

このことは、読書指導における良書の選択とあい通ずるものである。

読む力、書く力、読解力などを大切にしながら、主体的な読書力と同時に主体的なテレビ視聴力を育てたいと考えている。

(三島小)

● 良書より適書を

寺尾和彦

子どもたちが、本が好きになっていく過程に、本を読んで「おもしろかった」「よかった」という感じを経験することがもともになつている場合がある。

本をすすめる時、子どもたちが読める本・わかる本でなければならぬ。しかし、子どもたちの読書力や読書の傾向には、個人差が大きい。二年生の読書力の例では、一年生の一学期程度から、四年生の一学期までといへん幅が広い。

このような個々の子どもたちにしたえるために、私自身子どもの本を多く読み、多く知らなければと努力している。

朝の読書会で、目がかがやかせて読みふけている顔を見るたび、このことを強く強く感じる。

(藤川小)

家を出て手を引かれる祭かな

〈中村 草田男〉

祭はたのしいものだ。

祭ともなればその日は仕事を休み、馳走を作り、家族ともどもに食べる。

その日を子どもは指折って待ち暮す。

世の中の多様化につれ、天地自然と切り離されつつある今日の子どものもとって、幼き時代の祭はどのように心に残るであろうか。地方から出て都会に働く青年が祭のため故郷に帰る。

祭はこころのふるさとでもある。



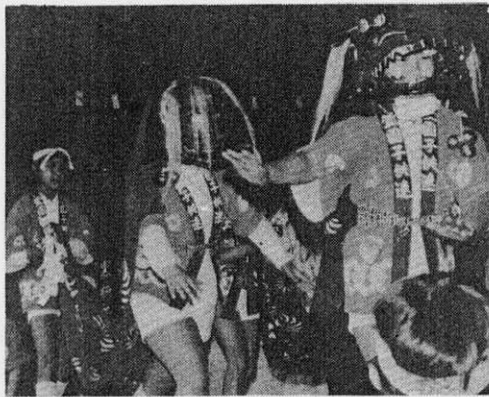
▲能見 神明宮 5月

◀明大寺 万灯祭 8月

▼六ツ美 お田扇祭 7月



子どもとまつり



- ▲八帖 諏訪神社 10月
- ▲奥殿 熊野神社 10月
- ▼本宿 帝鎮講 12月

- 萱園 八幡宮 10月▲
- 北野 地藏まつり 8月▲
- 滝山寺 2月▶



読書週間

六ツ美中

山下 登

巡り合った限りは、生徒たちに少しでも潤いのある生活を演出してやろうと日々心がけてきた。

「〇〇の日」とか「△△週間」というものも、かつてはそんな短期間だけ喚起させてなにならんと否定していたが、この頃ではそれも生活感情をゆさぶるものとして歓迎している。

しかし、「読書週間」だけは、どうしてもほにかみか先に立つてしまう。それは、毎年訪れる読書週間を、生徒の歩み続けた読書歴のある一つの峠という実感をいだかせじまいで迎えさせてしまうことによる。国語科担当でありながら、恥ずかしい限りだ。

あげくの果てが、「さあ、読書の秋だ。読書週間だ。大いに本を読もう。」と、ぬけぬけと聞き直ってしまうのだ。心中は赤面この上ない。

確かに現代は、読書にとつて受難の時代だ。児童図書書の氾濫出版とは裏腹に、読書量は低下の一途をたどっている。その上、小学生の頃はよく読書してきた生徒にも読書量を減少させてし

まう要因が中学生にはいろいろ存在するようになる。

よく見かける光景だが、書店でどの本を買ったらよいか親子で困っている。また、かなり高い国語の学力を持っている生徒が、図書館の本を前にして、どの本を読んだらよいか困っている。時には、授業の端でちよびり内容を紹介した本や教室に実物を持ちこんだ本を、さっそく読んでいる生徒もいる。

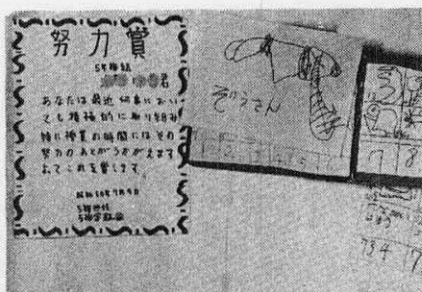
書籍の氾濫は、読書したくても本を手取ることをさせなくするという珍現象を起こさせている。一方、氾濫出版の申し子か、中学生向きの児童文学や評論にもよい作品が出現してきている。

それにつけても、「ペイントの三部作、全部図書館にありますか。」と聞かれて、ぎくぐくとす。氾濫出版の中で、立ちすくんでいるのは、私の方かもしれなと、またまた赤面。

もうじきことしも「読書週間」がやってくる。ことしの生徒はどうだろうか。読書生活の充実を実感してくれるだろうか。



教育日々



すばらしい努力賞!

根石小

寛美代子

僕が赤ちゃんの時からあさんは、部屋に鍵して働きに行った。菓子もおもちやもあつたけどひとりぼっちには、嫌だった。あーあーうーうー話しても、かあさんちつとも解らない。泣いて疲れて寝て起きて、夕焼空ながめて母さん待った。

(保育園で)

みんなが僕に話をしたが、解らないし、うるさくて、ひとりぼっちが好きだった。しやべらない、ひとりぼっちはしようがない。先生、父さん母さん怒るけど、僕、僕は特殊学級二年生へ入った時A児はこんなことを言いたげに、じつと私を見つめていた。

学校から帰ると、保育園の弟を迎えて来て、テレビを見ながら母を待つA児は、テレビで見た漫画以外は書こうとしない。何でもいい、やろうとする気が伸びる芽だ。「世界一上手だ。」とほめたら、認められたことを感じとったA児は書き続け、番号を付けることを覚え、絵にひらが

がで説明も書いた。

まとまった作品に感心して友達にほめてくれる。仲間に認められた嬉しさはまた格別。まずまずやる気を出した。こんなきつかけから、遅れてはいたがいろいろなことが出来るようになったが残念ながら五年生になると普通学級にもどらなければならなかった。

外庭の掃除の時一輪車を引いて、わざわざ特殊学級教室の前を、行きも帰りも通る。見て見ぬ振りして通るけど、見て見ぬ振りを見て欲しい。一度止って必ず振り向く。すかさず送るサインが心を励ます。「写生会いっばつががんばるでね。」電話をくれたA児はがんばり、私も祈ったが入選はしなかった。「あかんかったで今度がんばるね。」暖かいクラスの中でA児の気力はますます伸長し、一学期末、学級会から努力賞を受けた。努力しようとかがんばったことがみんなに認められたのだった。



新六北、その名も「城南小学校」

市内38番目来春開校決まる

六ツ美北部小など近隣四小の過密化解消をめざして六月以来羽根町高畑一四地内(県営上和田団地東)に建設をすすめてきた仮称新六北小は、その名も「城南小」と決まり、五十二年四月正式に開校される。

学区は六名四、六区の一部と太白町(六名小)上和田町(六ツ美北部小)戸崎三区、羽根北一区の一部(羽根小)羽根西一、二、三区の一部(岡崎小)で編成し、当初は児童数四百二十一人、十三学級の子定。中学校区は現在のままで、卒業後・竜海南・六ツ美の三校へ分れることになる。

建設中の学校は、敷地二万三千平方尺、鉄筋コンクリート三階建て一棟延べ千五百二平方尺、

【寄贈刊行物・資料等】
◇心豊かな六ツ美の子

六ツ美地区小中学校編

文部省の道徳教育地域協同研究方式を主体的に受けとめた六ツ美四校百人の教師の二年間にわたる情熱的な研究記録。A5判、二一〇P、美装本。

◇学校づくり一ニ〇話―豊かな人間性を育てる城北教育―

城北中学校編

既刊五冊の「学校づくりの話」とその後の記録の中から、城北教育の初心・真髄に触れた一二〇編を選び、新しい歩みのための自戒の書としたもの。B6判

普通教室十四)二月完成予定。なお城南小の開校は、五十年の緑丘小、五十一年の大門小、竜美丘小に続くもので、市内三十八番目の小学校となる。

酒井宏昌・監督竹川正彦(水泳男百自自)▽葵中・鶴田智子・監督小林早苗(同女百自バク)▽矢作・加藤美弥・監督牧野重彦(水泳女百自平)▽城北・飯田絹子・監督鈴木知子(陸上女八十自H)▽城北・辻村直美・三浦寿子・西山美智子・飯田絹子・監督鈴木知子(同女四百自R)※以上個人はいずれも県中

岡崎南ロータリークラブ(川上幸次郎会長)からの基金で、年度内に市・県の各種体育競技会等で活躍した個人・団体を表彰する五十一年度「学校体育賞」の受賞者が決まった。中学校は二十四日の新人体育大会で、小学校は三十一日の陸上競技大会でそれぞれ表彰を行う。受賞者(敬称略)は次のとおり。

【中学校】▽甲山中現職教育体育部(全国学校保健体育優良表彰校)▽甲山・小池隆治、監督

陸上競技大会の結果による。

■小学校修学旅行の日程

市内小学校連合の修学旅行が11月29日から京都奈良方面三班編成の各一泊二日で実施。
▽29・30日Ⅱ男川、羽根、三島竜美丘、連尺、恵田、奥殿、細川、岩津、大樹寺、大門、矢作西の十二校。

▽30・1日Ⅱ梅園、広幡、井田福岡、竜谷、藤川、山中、本宿六ツ美中部、同北部、同南部の十一校。

▽1・2日Ⅱ根石、美合、緑丘岡崎、六名、愛宕、生平、秦梨常南、常東、常磐、矢作東、矢作北、矢作南の十四校。

■岩津小研究発表会11月12日
▽主題Ⅱ活動力のある体づくり
△主体性創造性を高める体育活動
▽日程Ⅱ仲よし運動、公開授業、体育クラブ活動、研究発表(指導Ⅱ美濃部栄先生)講演
Ⅱ中京女子大体育学部長坂上光男先生(モントリオールオリンピック、パレーボール総監督)

市制60周年・家康公360年祭記念

第13回 造形 おかさきっ子展

…みんなで作ろう森の造形
記念事業……写真パネルによる12回展までのあゆみ・版画カレンダー

●とき 11月3日(日)▶4日(木)
午前9時~午後5時

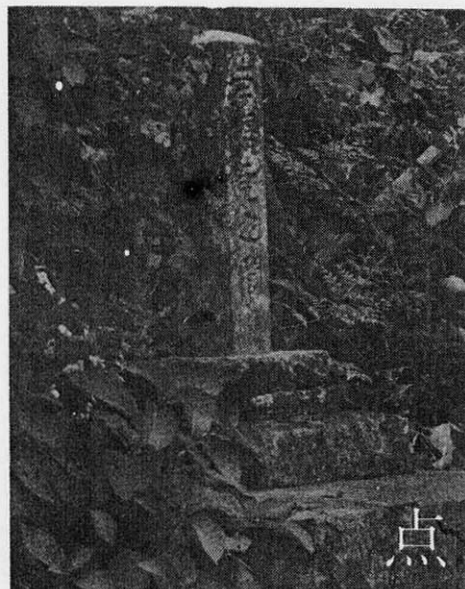
●ところ 東公園



会場案内



岡崎市現職教育委員会園工・美術部
事務局一岡崎市井田町安理の3 岡崎市井田小学校内



所在地一岡崎市古部町

孝婦「とら」

逢生むすぶのバス停（榎山線）から北へ約二キロ、古部川に沿って山道を登ると、右手の小高い草むらに「孝婦虎之鬨」としてした石碑が目にはいる。

さらに、五〇メートルほど坂道を進むと、北よりの山すそに「とら」の屋敷跡があったと言われ、そこに「孝婦碑」がある。今から二四〇〜二五〇年前、享保年間、この河合の古部町に「とら」という女性が住んでいた。「とら」は、貧乏な百姓家の

一人娘で子どもの頃から貧しい自分の家を助けよく働いた。その親孝行は、当時の村人だけでなく、岡崎藩にもその名が知られ、広く全国的に婦女の鏡としてもてはやされた。

岡崎藩主、小野和泉守が「とら」の篤行に感動し、藩臣松本尚絢に命じて享保十八年に建立させたものである。現在でも、古部の婦人会は毎月碑の清掃をし季節の花を供え「とら」の冥福を祈っている。

カット

美合小

三浦 公子

この本を

- 吉田松陰を語る 司馬遼太郎他 ￥ 1,900
- 大和書房
- 大英帝国は二度死ぬか 小西昭之
- 毎日新聞社 ￥ 920
- 勉びと勉強 深谷昌志・深谷和子
- 中央公論社 ￥ 360
- 日本の書物 紀田順一郎
- 新潮社 ￥ 1,000
- 日本語の作文技術 本多勝一
- 朝日新聞社 ￥ 980
- 統計のウソとホント S・K・キャンベル
- ダイヤモンド社 ￥ 1,300
- 大いなる夜明け 榊葉英治
- 時事通信社 ￥ 1,600
- メディアの周辺 加藤秀俊
- 文芸春秋社 ￥ 980
- 塔 梅原 猛
- 集英社 ￥ 980
- わたしたちの愛知県史 愛知県郷土資料刊行会 ￥ 1,800

け 研究・研修は、教師が自らの資質と技能の向上をめざして行うものであり、教特法にも規定されている。

教師が太ること、これが、子どもが太るもとである。「先生の教え方はわかん。」と子どもにいわれたら、プロ失格宣言である。お互いがんばらなくっちゃあ。

ごけむし

ご(五)年に一度の国勢調査が行われて一年たつ。一億を越す現在、わが同朋がこれだけふえれば、いろいろなもの考え方をする人間が現われいわる価値観が多様化してくることもあえて不思議ではない。日本人らしさとは、いったい何なのか。「文化の日」にそんなことを考えてみたい。

「むずかしい/ここをどうしよう」「むりかなあ?」とひとりごと。

しまったかぶりの物識り。星が、聞きかじりの生半可な知識をもっているだけで、自分こそ天下第一とうぬばれることほど滑稽なものはない。と「実践論」にいう。一九四九年十月一日、今は亡き赤い巨星毛沢東主席のもとに新中国は力強く誕生した。

むから有を生ずることは楽しいことだ。む限に利用できる白紙を前に編集会議はむ駄のない紙面づくりのため延々つづく先生方の机上にこの月報がどのように迎えられるのかと不安と期待の中で原稿用紙と割りつけ用紙をにらんで：ム・ム・ム